

「高校生が知っている世界の有名な書物展 2019」を開催

本学図書館は6月16日（日）に行われた本学のオープンキャンパス時に「高校生が知っている世界の有名な書物展 2019」の第1回目を開催しました。この展示会は文字通り高校生を対象にした稀観書展示会で、高校までの国語や日本史、世界史の教科書に載っている世界の書物を中心にご紹介するものです。

ここに出展されたトマス・ホップズの『リヴァイアサン』やサー・トマス・モアの『ユートピア』などの洋書、また福沢諭吉の『西洋事情』や林子平の『海國兵談』などは、多くの高校生が書名を知っていても実物を見ることが少なく、このオープンキャンパスに参加した高校生全員に原典を見ていただくとう毎年5回にわたって開いているものです。



今年の展示では、洋書32点・和書5点の合計37点を展示しており、次回のオープンキャンパス開催時でも同内容で展示を行う予定です。

なお、この展示会は今後、本学で開催される8月2日から4日までと9月1日のオープンキャンパスの日に開催いたします。

オープンキャンパス時の図書館案内に図書館アルバイトの皆さんが活躍

「高校生が知っている世界の有名な書物展」はオープンキャンパスの日程に合わせて行っていますが、来館された高校生と同伴された方々に対して、図書館ではライブラリー・ツアーを行っています。案内役は図書館でアルバイトをしている本学の学生です。去年ガイドを経験した人もいますが、今年初めての人もいます。しかし、6月16日（日）に開催されたオープンキャン

パスでは、練習の甲斐もあって熱意のこもった貴重書の解説を高校生だけでなく同伴された方々も熱心に聞き入り、時折、アルバイトの人たちに対する称賛の声が上がっていました。



国立国会図書館月報に外大図書館の展示目録についての記事が掲載

『国立国会図書館月報』697号 2019年5月の「本屋にない本」において、本学図書館が創立70周年記念に刊行した稀観書展示目録『世界の軌跡を未来の英知に』が紹介されました。



この展示会は、世界の著名な人物の書簡とその人の著作を合わせて出展したものです。今回「本屋にない本」でご紹介いただいた記事では「書物のもつ力と、書物と共に歩んできた人々の歴史と後世へのメッセージを発信していこうという書き手の熱意が伝わってきた」と評していただいています。

今年度の図書館の展示会について「ナポレオン、偉大なるエジプト文明に挑戦する」

本学図書館は来る10月16日（水）より24日（木）にかけて稀観書展示会を開催します。今年はナ